

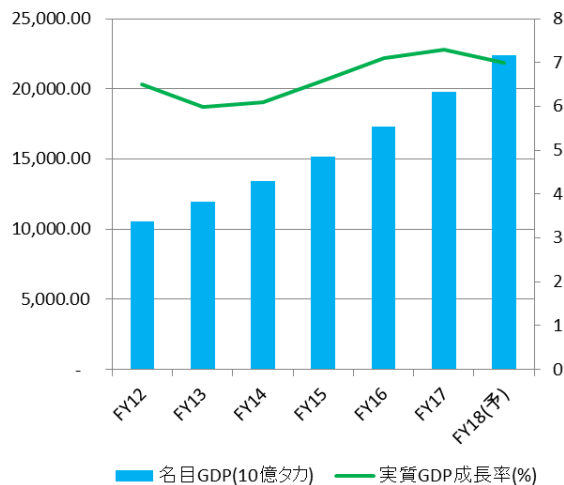
# Bangladesh の投資環境 セクター別ニーズ情報

---

独立行政法人 国際協力機構  
Japan International Cooperation Agency (JICA)  
 Bangladesh 事務所

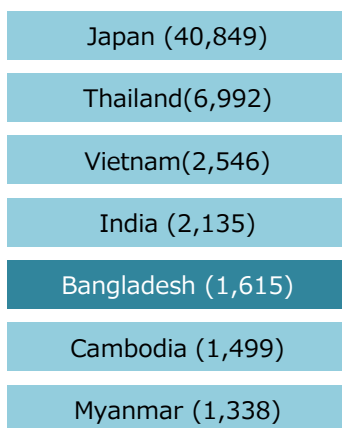
# バングラデシュの投資環境

GDP総額と実質GDP成長率の推移  
マクロ経済は堅調。



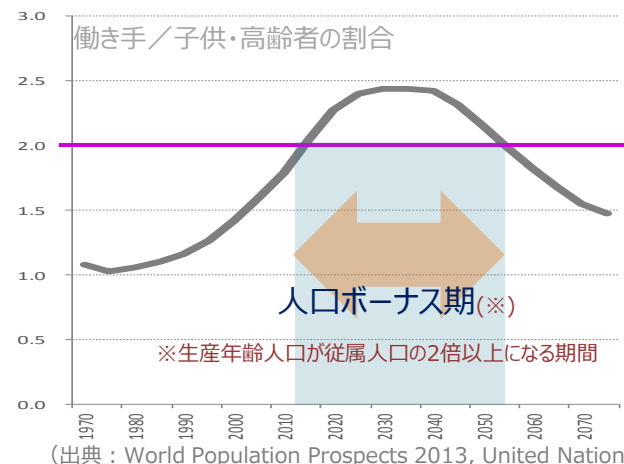
(出典：IMF, Country Report 2018)

一人当たりGDP  
成長加速。インドに迫る。



(出典：IMF, World Economic Outlook, 2018 GDP per capita Nominal (US\$))

今後40年にわたり人口ボーナス期  
豊富な労働力による生産拠点/一大消費市場に



ビジネス環境の整備が課題  
世銀調査では190ヶ国中177位

過去7年で進出日本企業数は約3倍増  
「ビジネス見通し明るい」との見方が多い。

|        | 2009年 | 2017年 |
|--------|-------|-------|
| 進出日本企業 | 82    | 253   |
| 在留邦人   | 570   | 848   |

(出所：JETRO)

| 国名    | バングラデシュ | 日本  | タイ | インドネシア | インド | カボネジア | インドネシア |
|-------|---------|-----|----|--------|-----|-------|--------|
| 総合ランク | 177     | 34  | 26 | 68     | 72  | 135   | 100    |
| 起業    | 131     | 106 | 36 | 123    | 144 | 183   | 156    |
| 建設許可  | 130     | 50  | 43 | 20     | 108 | 179   | 181    |
| 電力    | 185     | 17  | 13 | 64     | 38  | 137   | 29     |
| 登記    | 185     | 52  | 68 | 63     | 106 | 123   | 154    |
| 融資    | 159     | 77  | 42 | 29     | 55  | 20    | 29     |
| 投資家保護 | 76      | 62  | 16 | 81     | 43  | 108   | 4      |
| 税金支払い | 152     | 68  | 67 | 86     | 114 | 136   | 119    |
| 貿易    | 173     | 51  | 57 | 94     | 112 | 108   | 146    |
| 契約履行  | 189     | 51  | 34 | 66     | 145 | 179   | 164    |
| 清算    | 152     | 1   | 26 | 129    | 38  | 74    | 103    |

(出典：Doing Business 2018, World Bank)

# バングラデシュ セクター別ニーズ情報 (1)

## 環境・エネルギー

| 開発課題   | 特に活用が想定される製品・技術等   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 電力需要増大に対し電化率は77%と低い(無電化地域=23%)。</li> <li>❑ ピーク時電力供給は電化地域であっても需要の約8割しか満たしておらず、周波数・電圧不安定、電力設備も劣化。</li> <li>❑ オフグリッドでは無電化地域でのSHS(太陽光)等の導入が課題。</li> <li>❑ 省エネ推進等を含む需要コントロールも課題。</li> <li>❑ 国産天然ガスの供給不足が顕在化。代替電源・エネルギー源の開発、利用効率の改善等を要す。環境への配慮も重要。</li> <li>❑ 車両の増加による交通渋滞が多大な経済損失をもたらす、大気汚染が深刻。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 新規の電源・エネルギー源</li> <li>❖ 省エネ技術全般(例:ピーク需要を抑制する効果のある蓄電池、デマンドレスポンス(DR)関連技術など)</li> <li>❖ 渋滞緩和に資する仕組み</li> <li>❖ 排ガス処理、大気汚染改善、他</li> </ul> |
| 参考資料   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <a href="#">JETRO-BOP実態調査レポート「電力事情」(2013)</a></li> <li>○ <a href="#">無電化地域向けピコソーラー等販売・普及事業調査</a></li> <li>○ <a href="#">電気三輪自動車(E-トライク)を活用したダッカ首都圏の交通問題の解決に向けた案件化調査</a></li> <li>○ <a href="#">太陽光パネルの導入に関する取組(IDCQL)</a></li> </ul>  |  |

## 廃棄物処理

| 開発課題  | 特に活用が想定される製品・技術等  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 都市における廃棄物増加、大気汚染、スラム拡大など、都市環境の改善が喫緊の課題。行政機関の実施体制は脆弱、住民の衛生意識も低い。</li> <li>❑ ダッカ都市圏の人口は1,900万人(2017)、増大する廃棄物の処理は社会問題。</li> <li>❑ ダッカのゴミ収集率は上昇。一方、最終処分場の不足と拡大する都市地域のゴミ収集システム整備等に課題。</li> <li>❑ 産業廃棄物、電子廃棄物処理の関連規制はあるものの、運用は自治体に任ざられており徹底されていない。</li> <li>❑ 中小規模の医療施設での医療廃棄物処理が遅れている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 廃棄物処理技術やリサイクル技術、他(特に、産業廃棄物の適正処理に資する製品や技術、限られた最終処分場に対応した焼却処理等の代替方法、廃棄物収集効率化のための各種機材)</li> </ul> |
| 参考資料  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <a href="#">JETRO-BOP実態調査レポート「廃棄物処理」(2013)</a></li> <li>○ <a href="#">クリーンダッカマスタープラン</a></li> <li>○ <a href="#">医療廃棄物処理システムのパッケージ展開</a></li> <li>○ <a href="#">廃電子機器等の回収・金属資源化事業調査</a></li> </ul>  |   |

## 水の浄化、水処理

| 開発課題  | 特に活用が想定される製品・技術等  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 3割程度の国民が安全な水を手に入っていない。</li> <li>❑ 農村部における地下水の砒素汚染、沿岸部における塩害等、水質に問題有り。</li> <li>❑ 灌漑による過剰揚水に伴う全国規模における地下水位低下も課題。</li> <li>❑ 政府は地下水から表流水活用への転換を図っているが、一部の都市部を除いて、インフラ対応が追い付いていない。</li> <li>❑ 雨季には洪水が頻発する一方で、乾季には降雨量が大幅に減り水不足に陥る。</li> <li>❑ 急速な工業化に伴う周辺河川の水質汚濁などの都市環境問題も深刻。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ (農村部) ヒ素、鉄分、塩分等の除去を通じた(地域性を踏まえての)水質改善、礫層での掘削、帯水層枯渇・地下水位低下などの問題に対応し、安全な飲料水を供給することのできる仕組み、他。</li> <li>❖ (都市部) 上水道整備(配管が整備されない地域における配水システム改善、老朽管更新、漏水対策等)、住宅/工業排水処理、下水処理(繊維、皮なめし産業等)、河川の水質改善、他</li> </ul> |
| 参考資料  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <a href="#">JETRO-BOP実態調査レポート「水事情」(2013)</a></li> <li>○ <a href="#">バングラデシュ国水ビジネス事業環境にかかる情報収集確認調査</a></li> </ul>   |   |

## 農業・水産業

| 開発課題   | 特に活用が想定される製品・技術等  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 貧困層の多くが農村部に住んでおり、都市部との経済格差は拡大の一途を辿る。</li> <li>❑ 高付加価値農産物の需要は上昇傾向。</li> <li>❑ 農薬の過剰使用等による安全性の懸念。</li> <li>❑ 農村部での道路整備率は低く、農作物のマーケットへのアクセス向上の妨げとなっている。営農能力の不足による過剰生産やコールドストレージ不足などにより廃棄量も多く、農家の収入向上を妨げている。</li> <li>❑ 農業生産者の多くは小規模農家であり、農業投入資機材導入のための資金力が乏しい。</li> <li>❑ 水産業も栄養摂取や所得創出といった観点において大きな役割を果たしている。特に養殖業が大幅に伸びている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 農産物の高付加価値化、生産性及び食の安全性の向上、農業資機材、効率的な農業金融などの領域における取組み</li> <li>❖ 高付加価値水産ビジネスを通じた住民の所得向上、他</li> </ul> |
| 参考資料   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <a href="#">JETRO-BOP実態調査レポート「農林畜産業」(2013)</a></li> <li>○ <a href="#">JETRO-BOP実態調査レポート「水産業」(2013)</a></li> <li>○ <a href="#">農業セクター基礎情報収集・確認調査ファイルレポート(2010)</a></li> <li>○ <a href="#">農業金融に係る情報収集・確認調査ファイナルレポート(2014)</a></li> </ul>   |   |

| 教育  |   |
|---|---|
| 開発課題  | 特に活用が想定される製品・技術等  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 初等教育の純就学率はほぼ100%であるが、第5学年までの修了率は約8割(2013)と(MDGの目標であった)100%には遠い。</li> <li>□ 5年生を対象とした全国学力調査で、当該学年で身につけておくべき水準の学力を有する児童が、算数では10%、国語(ベンガル語)では23%(いずれも2015)に留まるなど、学習到達度をはじめとする質的側面に関して多くの課題が残る。</li> <li>□ 技術教育では産業多角化を支える中堅技術者の育成を目指しているが、技術教育卒業生の就職率は低い。教員側の実践的な教鞭経験も乏しく、産業界のニーズに即した教育の仕組みが欠けている。</li> </ul> | <p> Bangladesh の教育セクターではNGOなどの多様なアクターが教育機会の提供を行っている現状を踏まえ、教育の質の改善や、産業界(企業など)が求める分野(IT及び日本語教育など)でのノンフォーマル教育などの事業展開。技術教育を担う専門学校(ポリテクニク)での、実践的な技術者養成に資する仕組み。</p> |
| 参考資料  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ JETRO-BOP実態調査レポート「教育事情」(2013)</li> <li>○ NGOとの連携による教育の質向上事業準備調査(BOPビジネス連携促進)</li> <li>○ 脆弱な通信環境に対応できるeラーニングシステムを使った情報処理技術者試験(ITEE)対策講座の案件化調査</li> </ul>  |   |

| 医療保健   |  |
|--|--|
| 開発課題   | 特に活用が想定される製品・技術等   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 無償の公的保健サービスへのアクセスが不十分のため、医療費が貧困層の家計を直撃し更なる貧困を助長している。</li> <li>□ 保健人材が圧倒的に不足。特に看護人材が少ない。病院運営、施設機材の整備に改善点多数。医療の質も低い。</li> <li>□ 食習慣や生活様式の変化、喫煙の増加等により心血管疾患・がんといった非感染性疾患(NCDs)が全死因の約6割を占めている。</li> <li>□ このような疾病構造の転換に対して、公的医療サービスにおけるNCDsの早期発見や早期治療のための環境は十分に整備されていない。</li> </ul> | <p>民間病院やNGOなど多様なアクターと連携しながら、主要な健康問題として認識される非感染性疾患の対策を中心に、予防に資する健康管理機器、早期発見のための診断技術など、農村地域や都市部のスラムの医療機関でも提供可能で住民のアクセスが可能な、安価で簡素な医療機材やサービスを提供することが期待される。</p> |
| 参考資料   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ JETRO-BOP実態調査レポート「医療事情」(2013)</li> <li>○ 保健サービスへのアクセス改善のための健康診断ビジネス(SDGsビジネス)調査</li> </ul>  |  |

| 防災・災害対策   |   |
|---|---|
| 開発課題  | 特に活用が想定される製品・技術等  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ Bangladesh は、3つの国際河川の下流デルタが国土の大半を占め、北がヒマラヤ、南がベンガル湾を挟む地理的特性から、洪水、河岸浸食、高潮、サイクロンといった災害が発生するが、堤防等の水防災関連インフラや予警報に必要な施設の能力や維持管理の技術が不足。</li> <li>□ 乾期の水利用、塩水遡上、地下水低下、河川上下流の水配分調整の不足といった水資源管理に係る問題が顕在化。</li> <li>□ ユーラシア、インド-オーストラリアプレートの境界が近く地震発生リスクが指摘されており、耐震対策は制度、規制の整備、耐震補強技術の開発等が遅れている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 堤防、護岸の適切な設計、施工・施工管理、安価な維持管理に資する製品技術</li> <li>❖ 既存の建物の耐震補強工事に係る適切な設計、施工・施工管理に資する製品技術</li> <li>❖ 土木及び建築における高効率で且つ一定品質以上の原材料(鉄骨、セメント、骨材、型枠、足場などで既存の粗悪で質の低い資材の代替となるもの。また、Bangladesh 特有の細粒土の粒度調整に資する技術。)</li> </ul> |
| 参考資料  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然災害に対応した公共建築物の建設・改修能力向上プロジェクト</li> <li>○ 再生路盤材を活用した粒状路盤工法の導入にかかる案件化調査</li> </ul>  |   |

| 金融  |   |
|---|---|
| 開発課題  | 特に活用が想定される製品・技術等  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 1,000以上に及びMFI(マイクロファイナンス機関)が約3,300万人(世帯)に対してサービスを提供しているとされている(2013年末時点)。</li> <li>□ 一方、マイクロファイナンス市場の競争激化、人件費の増加に伴い、従来のスタッフによるマニュアルオペレーション手法からの変革が求められている。</li> <li>□ MFIが提供できる金融サービスは融資や預金など的一定範囲に限られている。</li> <li>□ より幅広い金融サービスが提供できる各商業銀行が、モバイルファイナンス技術を活用し、各遠隔地にあるMFIなどをフランチャイズ店舗化して末端の人々に金融サービスを提供し始めている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ ICT、モバイルファイナンスなどを活用した金融オペレーションの仕組み</li> <li>❖ 保険、サプライチェーンファイナンスなども含めた幅広い金融サービス、フィナンシャルリテラシー教育などの非金融サービス、他</li> </ul> |
| 参考資料  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ JETRO-BOP実態調査レポート「金融事情」</li> <li>▪ 金融包摂強化プロジェクト</li> <li>▪ Bangladesh 国 農業金融に係る情報収集・確認調査</li> <li>▪ マイクロ保険事業の展開に係る事業準備調査(BOPビジネス連携促進)</li> </ul>   |   |

※さらなる詳細情報 → JICAホームページ「民間企業の製品・技術の活用が期待される開発途上国の課題 [https://www.jica.go.jp/sme\\_support/reference/subjects.html](https://www.jica.go.jp/sme_support/reference/subjects.html)」をご参照下さい。



Bangland（バングランド）は、バングラデシュで活躍するソーシャルビジネスの事例や、ビジネスチャンスにつながる社会開発問題を取り上げ、皆様にお届けしています。

## 【Bangland Website】



The screenshot shows the Bangland website homepage. At the top, there is a navigation bar with the JICA logo and the text "Bangland" and "Bangladesh 進出支援・現地情報ならBangland(バングランド)". Below this is a search bar and a menu with categories: "本サイトについて ABOUT", "事例紹介 CASES", "産業レポート REPORTS", "お役立ち情報 KNOWLEDGES", "SDGs", and "お問い合わせ CONTACT". The main content area features a large image of colorful umbrellas with the text "経済成長により変わりゆくバングラデシュの“現在(いま)”をお伝えいたします。". Below this are three columns of featured content: "事例紹介 CASES" (with a sub-header "現地で活躍する地場企業や日本企業の事例をご紹介します。"), "産業レポート REPORTS" (with a sub-header "バングラデシュで成長している産業や市場の動向をお伝えしています。"), and "お役立ち情報 KNOWLEDGES" (with a sub-header "バングラデシュ、BOPビジネスに関連する情報をご紹介します。"). At the bottom, there is a "最新の記事" section with a link to a case study from 2018.3.15 titled "「Friendship〜CSR資金を獲得し続けるプロフェッショナルNGOの" data-bbox="56 367 478 829"/>

<https://www.jica.go.jp/bangladesh/bangland/>

## 【Bangland Facebook】



The screenshot shows the Bangland Facebook page. The page header includes the JICA logo and the text "JICA Bangladesh". Below this is a navigation bar with options: "Facebookページ", "受信箱", "お知らせ", "インサイト", "投稿ツール", "広告", "設定", and "ヘルプ". The main content area features a large image of a meeting with the JICA logo and the text "JICA Bangladesh @jicabangland". Below this are several posts, including one with the text "「いいね!」済み" and another with the text "ビジネス・経済関連サイト".

<https://www.facebook.com/jicabangland/>